海まで５分。美しい浜と里山のある生活。

みはまデイズ

mihama days VOL.02

大地が繋ぐ ご縁な人々。

TakeFree

二〇十七年 第二号「みはまデイズ」発行：愛知県美浜町

百姓百品。
米と野菜と、
未来をつくる。

自然や仲間の力を借りて、
必要なものは自分たちで作る。
「百姓」とは、
１００の仕事をこなす人生の達人。

“畑はもっと楽しいし、
おいしい。”
たくさんの人に、畑を
楽しんでもらいたい。

杉山 直生 さん（愛知県出身）
橋本 千尋 さん（大阪府出身）

とるたべる　主催

参加者が野菜などを自分で収穫しておいしく食べる、農と食の体験イベント「とるたべる」を2人で主催。北海道の大学で畜産を学んだのち、杉山さんは農協経済連で4年間勤務。橋本さんは静岡県の有機農家で働いたのち、様々な土地を見て回り美浜町へ。現在、杉山さんは美浜町の「萬秀フルーツ」での農業研修やアルバイト、橋本さんは農家でのアルバイトをしながら、2人で滞在型の農業拠点づくりなどを模索しています。

とる、たべる

僕たちのやっている、『とるたべる』は、「畑はもっと楽しいし、おいしい。」をモットーにした、収穫体験とご飯会をするイベントです。たくさんの人に、もっと畑を楽しんでもらいたい、「農業」をもっと身近に感じてもらいたい。そんな思いでいろいろな人と協力したりもしながら、できるだけ定期的に開催しています。

ご縁で繋がる場所

杉山）　美浜町で暮らし始めたきっかけは、ご縁ですね。最初は、太田農園の太田さんとのご縁です。

それまでも自分たちのあいまいな夢みたいなものがあって、一般の人にもっと農業を面白く伝えられないかなと二人で考えながら、でも何をしたいかはわからないというのがずっと続いていました。

北海道から関東・中国・四国・九州まで、全国各地を二人で車で旅をしながら、たくさんの場所や取り組みを見て回ったりしましたが、見て回ったどの場所も一長一短がありました。何かを求め続けるよりは、自分たちの好きな人のところに飛び込んじゃおうと。それで太田さんのもとに飛び込んできました。

住んでいて思うのは、今は2人とも違う農家でアルバイトをしていて、僕はフルーツが手に入るし、彼女の方は野菜が手に入る。太田さんからはお米もいただける。食べていくのには困らない、よほどのことがあっても生きていける町だなと思います。

橋本）　もともと二人の中で、直生は山派で、私は海派だったんです。私はすごく海が好きで。

美浜町に住むと、西に行けば西に海があって、東に行けば東にもまた海があって、またその顔も違って。「夕方に行くのはこっちの海」とか「朝に行くのはこっちの海」とか、一人になりたいときには、海が近くにあるので一人でたそがれたり。とってもいい町だと思います。

美浜町での暮らし

杉山）　一週間の流れでいうと、大体週4日はフルーツ農家で研修をさせてもらって、2日はアルバイトをして、残りの1日はイベントという流れが多いです。

　グレープフルーツなどのハウス柑橘類がメインの「萬秀フルーツ」さんで働いています。6次産業などに向けて先進的な取り組みをされているので、作物の育て方も含め、お客さんの呼び込み方やイベントの組み方、自分たちのブランド作りなどのために、そういったところをメインに学ばせてもらっています。

　アルバイトは、夜に家庭教師と、常滑でホテルのフロント業務をしていて、それも将来、自分のやりたいことに役に立つかなという思いもあって続けています。

橋本）　私は週4日～5日くらい、畑のアルバイトをして、休みの日は「とるたべる」のための料理の研究をしています。

　また、「とるたべる」のためにというわけでもないですが、例えば今は各地の醤油をいろいろな所から取り寄せて、醤油ごとの個性を調べたり、どういったものに合うのかなといったことを試したりしています。

　海の幸も山の幸もどちらもあり、食材が豊富なことも美浜町の魅力だと思います。

おすすめ・好きなお店

杉山）　「Ｒａｉｎｂｏｗ Ａｒｔ」は好きです。「南洋の父サウス」のカレーも美味しいです。

橋本）　私も「Ｒａｉｎｂｏｗ Ａｒｔ」ですね。美浜町の花火も好きです。美浜町の総合公園体育館に遊歩道があって、軽く運動したいときや散策にもちょうどよくて、気持ちがいいです。

移住を考える人へ

　やりたいことがあって、それをやるための心の準備ができていれば、環境はそろっている場所だと思っています。

　何かをしたいという思いがある人に対しての、周りからのサポートもすごくあるし、応援してもらえます。

　参考になる取り組みをしている農家さんや、他の業種で経験を積んで就農してきた人もたくさんいて、人材も揃っているし、地域との仲介役をしてくれる人もいるので、特に農業に関してはいろいろなことができるし、やりたいことを始めやすい地域だと思います。

MIHAMA
PEOPLE

鈴木敦由 さん

農業、「nice time farming」代表
家族構成 / 妻・子供（1歳）

旅とスノーボードが好きで、冬の雪山を中心にした生活の中で農業の魅力に目覚め、地元美浜町で農業をすることにしました。無農薬・自然栽培にこだわったお米や野菜、果物作りや、その魅力を活かした商品の開発、マルシェなどでのイベント出店などにも取り組んでいます。

新規就農者にやさしいまち。
地域の人が助けてくれた。

雪山から美浜町へ

大学時代から、スノーボードを中心に生活していて、ボードをするために、様々な仕事をしていた中の一つに農業がありました。最初は長野県のレタス農家で2シーズンほどお世話になり、勉強させてもらいました。

その後、北海道で2シーズンほど働いた時に出会った友達が元々名古屋の人だったんです。独立してトマト農家を有機農業で作っている彼のところで2年間、勉強させてもらって、そこで影響を受け、自分で農業をしようと考えて、地元に帰ってきました。また、北海道で出会った妻と、農家を始めた翌年に結婚をして、ここまで一緒に頑張ってきました。

はじめはわからないことだらけで、周りの農家さんや研修先の人に聞いたりと助けてもらいました。また、ここには新規就農者がたくさんいて、常に情報交換ができるので、その点も助かっています。

最初の頃は自分の農業機械もないし、何でも手作業でするのですが、周りの農家さんが農機具を貸してくれたり、機械で手伝ってくれたり、地域の人に助けてもらいました。

畑や道端で会ったら、農業者同士で立ち話もするし。農業者で集まってお酒を飲んだり、みんなで会議をすることもありますね。

nice time farming

〝スーパーに売っている野菜の形が当たり前〟というイメージをちょっと壊したいということもあって、例えば土が付いていることや、形がいびつだったり、大きかったり小さかったり、ニンジンだったら色が黄色や紫だったり、そういったスーパーでは見かけない野菜にも触れて欲しいですね。きれいな野菜だけではない、畑をそのまま表したい思いがあります。

加工品にも力を入れていて、例えば、農園のみかんを使ったみかんジュースも作っています。販売の仕方も考えているところで、サイズを変えたりパッケージを考えたり。他にはキ

ウイフルーツだったらジャムを作ったり、干し野菜を作ったりもしています。今、お米を使ったポン菓子づくりも考えています。

農業と人とまち

農業を始めるときから〝朝市〟を一つの販売先として考えていて、作ったものを自分で直接お客さんに販売することが一つの販売先の目標・目的でした。

栄のオアシス21で開催されている「オーガニックファーマーズ朝市村」（毎週土曜）、東別院の「てづくり朝市」（毎月28日）、あと相生山（天白区）の「徳林寺」というお寺の「つながりの朝市」（第二土曜）に出店しています。あと半田の「赤レンガマルシェ」（第四日曜）にも行っています。

基本的には名古屋に野菜を売りに行っていますが、都会の人にも知多半島や美浜町にもっと来てもらう試みができないかな、と考えています。高齢化で耕作放棄地が増えていて、これからもどんどん増えていく。かなり変わってきたとは思うのですけれども、畑と言うとやっぱりまだ高齢者のイメージがあります。

「農業」というだけではなく家庭菜園でも貸農園でもいいですが、街の人や、美浜町の人もですが、家庭菜園をする人がもっと増えて、みんなが畑に来てくれて、土と触れ合う時間があるといいなと思っています。

美浜の農業

温暖な気候で、一年中野菜が栽培できるのが魅力ですね。獣害もないし、自然災害の影響を受けにくい地域ではないのかなと。あとは消費地である名古屋に近いので、野菜を作ってから販売がしやすいことも大きいです。

小さい頃からこの町で育ち、18歳頃から名古屋の方に、スノーボードを始めてからは北海道や長野、海外に行っていたので「冬の山の方に住むのもいいかな」と一時期考えたこともありますが、やっぱり雪に覆われてしまったり、別の仕事をしないといけなくて。美浜町なら一年中農業ができるので、これは本当にいいと思います。

美浜町の農家には個性的な人が多く、それぞれ自分で勉強をしていて、農業のやり方や販売の仕方もそれぞれ全然違うので、勉強させてもらっています。

子どもが笑顔になる

美浜町は、海もあって山もあって、車を走らせれば町や名古屋にも出られるので、外で遊んだりゆっくり過ごしたい人には、本当に居心地がいい町です。今、子供が1歳で、畑に来るとすごく喜んで、何もなくても石ころ一つとか野菜を見て喜んでくれるので、畑をやっていてよかったなと思います。

若手の農家や新規就農者が特に多い「布土（ふっと）地区」。
ここには、農業を始めたい人や新規就農した人が集まっています。
特色のある農業を営む若手農家や、地域の魅力に惹かれて
移住してきた方々に、美浜町の「農」についてお話しを伺いました。

減農薬のお米や有機野菜を販売している。
（「にんじん CLUB」「生活クラブ」での流通等。）
もともと実家を継ぐ予定で就職したのち、U ターン。
今後は人の繋がりを大切にしながら、IT も活用したい。
「杉浦農園」有機米中心に露地野菜

海が近い場所で、農業をしたかった。友達の紹介で丁度いい物件があったので。
自家用の有機野菜づくりで自給自足生活

冬は東北だと農業ができないので、
こちらで就農しました。
太田農園さんで研修をして美浜に決めました。
「風の里山の農園」野菜・米

震災後に愛知にきて、去年から就農したところ。
イタリアの西洋野菜を作ったりもしています。
今後、実家の農家を継ぐ予定。
「farm florian」大豆・黒豆・枝豆など

栄養士を経て、
有機農業に行き着きました。
「出口崇仁農園」人参中心

丸絞りのみかんジュースを作っています。
北海道での研修を体験して地元で農業したくなって。
「nice time farming」代表

露地野菜を中心に、昔からある在来種の野菜づくりも。
自然学校がやりたくて、畑に人が来て欲しいと思って。
「鈴木農園 Organic farm+Delivery」

ブロッコリーが好きです。
杉浦さんの紹介で畑が借りられたので来ました。
「中根農園」露地野菜中心

太田さんとのご縁があってきました。
今は農業研修中です。
将来は農業体験×宿などをやりたい。
「とるたべる」主催

体を動かしたくて、農家をやるつもりではなく最初は農業体験に来た。
お人系の代理店から転職した。農家ももっと儲けることで説得力が出る。
もっと仲間を増やしたいし、会社員並の利益が必要だと考えている。
「つなぐ農園」

上段左より ▶
鈴木良幸さん(29) 福島県出身 / 島崎賢治さん(50) 福島県出身 / 杉浦大地さん(30) 美浜町出身
杉山直生さん(28) 愛知県出身 ・ 橋本千尋さん(26) 大阪府出身 / 鈴木紹さん(30) 愛知県出身
梅村武司さん(39) 名古屋市出身 ・ 梅村晶子さん(37) 名古屋市出身
出口崇仁さん(31) 名古屋市出身 / 鈴木敦由さん(34) 美浜町出身
中根猛さん(36) 愛知県半田市出身 / 井上鉄平さん(36) 京都府出身

何を考え、美浜町で
“農”に取り組むことにしたのか、
リアルな意見をみなさんに伺いました！

若手農業者・移住者座談会

農と人

美浜で営む「農」の特徴

面白い農家の人たちが集まっていて、
ゆるやかにつながりながらそれぞれにがんばっている地域。
おかげで情報交換ができたり、
教えてくれたり手伝ってくれる人がいる。

暖かく、いろいろな野菜も作れて条件が揃っている。
知多半島は農業がやりやすい。

Googleスプレッドシートで出荷管理したり、
LINEのグループがあったり、
ITを使って効率よくすることもすこしずつ取り組んでいる。

販売・販路について

こだわって作った野菜を
他の一般的な野菜と同じ扱いで
売られてしまうと価値がわかってもらえない。
大事に育てた野菜なのでつらい。

ご縁の理由と地域の魅力

なぜ布土地域には若い農家が
こんなにいるのかとは思う。

自分たちの農園の名前で付加価値を高めて
売りたいということは、みんな意識している。

広く流通させたい/こだわりたい、
値段が高い/安いなどで、農家ごとに思いがあって、
販売方法や販路を工夫している。
新規就農者もそれを参考にしている。

田舎暮らしに憧れて、山の中とか
本当の田舎で農業を始めても、
販売の部分ですごく苦労する。
獣害もひどくて売る前に食べられてしまうと思う。

太田農園の太田さんや
黒田農園（武豊町）の黒田さん、
杉浦さんたちが入り口になって、
「オアシス21オーガニックファーマーズ朝市村」
などのご縁で人が来ている。

太田農園さんの体験農業や研修などもあって、
それ以外にも農業を教えてくれる人がいて
地元出身の杉浦さんのような人が
農地を紹介してくれるという流れがある。

売り先がある、人が来てくれるという意味でも、
名古屋という都市圏が近いことはすごく大きなメリット。

愛知県美浜町で始める“農”ある暮らし

本気で就農したい！
農業を始めたい！

田舎暮らしも
してみたい。

子供に食や農業のことを
知ってほしい。

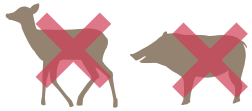
たまには土に触れたい。
野菜を育てたい。

愛知県美浜町なら

名古屋まで1時間

温暖な気候・用水も整備

雪害・獣害が少ない



頼れる先輩や仲間達！ — 販売ノウハウと大きな市場！ — 年中耕作ができる

IT活用や6次産業化など、
新たな“農”のかたちにも
取り組んでいます！

新規就農

※新規就農者には、青年就農給付金など、国の様々な制度があります。

新規就農をお考えの方、お気軽にご相談ください
美浜町産業振興課
TEL：0569-82-1111(265)
Mail：sangyoshinko@town.aichi-mihama.lg.jp

TOPICS

01. 新しい町営住宅ができました。

2017年4月完成の新しい河和第二団地は、「海の町、美浜町」らしいゆったりとした環境の中で快適に暮らすことができる、住む人同士の交流の場となる団地です。長屋をイメージしたデザインで、通路に面した縁側は住人同士の交流を育む場となり、広々とした芝生の庭は子供たちが安全に遊べるスペースとなります。
美浜町で新しい生活をスタートさせる人たちが、交流し、お互いに助け合いながら暮らし、子育てをすることのできる「新しい子育てゾーン」としての河和団地は、安心して快適な生活を送ることができる場所となっています。

→ 詳しくは、美浜町都市整備課

02. 婚活イベント「ハマ♡コイ」開催中！

美浜町では2016年度より、婚活イベント「ハマ♡コイ」を開催しています。これは以前、「美浜の花嫁カップリングパーティー」だったものを、親しみやすく呼びやすいネーミングにリニューアルしたものです。これまでに、美浜で縁を結んだ10組のカップルが成婚されています。（2017年3月20日現在）
イベントは美浜町の魅力に触れながら、花火大会やバレンタインなど、その季節ならではの企画を盛り込んだもので、参加者からは毎回好評をいただいています。

→ 詳しくは、みはま婚活推進室（美浜町企画政策課内）

農業をもっと楽しもう！ イベント・農業研修

太田農園

美浜町グリーンツーリズム

モリビトの会

とるたべる

美浜の〝おいしい〟を紹介

GOOD FOOD MIHAMA

オススメ土産

塩アイス

美浜産のミネラルたっぷり天然海水塩の入ったアクアブルーの塩アイスです。ほんのり塩を感じるまろやかな味です。

(食と健康の館)

海音貝（うんね）

あさりを食害する"うんね"(ツメタガイ)、美浜町では美味しい海の幸の一つです。コリコリした食感がクセになります。

(つくだ煮街道)

もぎたて果実のバームクーヘン

グレープフルーツを丸ごと使った、爽やかな風味としっとりした食感が楽しめるバームクーヘンです。

(萬秀フルーツ)

ぽんせん

美浜産の米・塩・水を使い、手焼きぽんせん機で一枚一枚心を込めて焼きあげています。

(田笑屋)

大砲巻

たっぷりの餡を焼皮で包んだ大砲巻。季節限定の種類もあって、何度も食べたくなる美浜名物です。

(飴文老舗)

あなごの干物

海の幸が豊かな美浜町では、海産物も天下一品です。凝縮された旨味がたまらない一品です。

(魚太郎)

みかんジュース

無農薬栽培のみかんを丸ごと使った、濃厚な甘みと酸味を持つ味わい深い「みかんジュース」です。

(nice time farming)

ふところもち

知多半島名物、米粉を使ったお菓子。もちもちした食感が楽しめて、腹持ちもいいです。

(萬正軒)

あなたの美浜暮らしを応援します

美浜町には今、空き家や休耕田などの〝余白〟がたくさんあります。あなたが住むことで、この地域をもっと魅力的にできるかもしれません。毎日を丁寧に過ごし、豊かな暮らしを実現してみませんか。美浜町への移住や二拠点生活、Uターン、滞在をお考えの方にご利用いただけるさまざまな制度やご相談窓口をご用意しています。体験移住やコミュニティの紹介もおこなっています。

美浜を知りたい方

美浜町企画政策課

☎代表０５６９・８２・１１１１（内線２３２）

美浜に住みたい方

＊住宅に関すること

美浜町都市整備課

（内線２４６）

美浜で農業がしたい方

＊農地に関すること

美浜町産業振興課

（内線２６５）

みはまデイズ
mihama days

mihamadays.com

掲載情報については、2017年3月時点のものです。本冊子の記事及び写真などの無断複写・転載を禁じます。